

株式会社 リモハブ

所在地

大阪府吹田市江坂町 1-23-19

事業内容
TEL

米澤ビル第5 江坂 4F

遠隔心臓リハビリテーションシステム開発
06-6105-6194

遠隔心臓リハビリシステムを開発

在宅医療機器として遠隔心臓リハビリシステムを開発。医師や看護師などの医療従事者が開発に携わっており、大学発ベンチャーという背景を活かし堅固な医療エビデンスを構築していけることが強み。

沿革

◆ 創業者の経歴

【創業者・代表取締役 CEO】



現在、代表取締役 CEO を務めている谷口達典氏は、大阪大学医学部卒業後、国立病院機構大阪医療センターや大阪大学医学部附属病院などで循環器専門医として臨床に従事。

心不全の病態や予後予測に関する研究を行い、日本超音波医学会奨励賞等を受賞している。

渉外活動として、全国の心不全を志す若手医師が集う「U40 心不全ネットワーク」における第6 期代表理事を務め、現在も理事を務める。日本循環器学会の一員としても活躍している、循環器専門医および総合内科専門医である。

◆ 起業に至る経緯

谷口氏はもともと循環器、心臓の医師として従事しており、当初は全く起業の意思はなかった。一方で、循環器病に関わる医療機器については外国製のものが主体であり、日本製が少ないという思いを抱いていた。谷口氏自身も医療機器やデバイスを用いた研究をやりたいと考えていたが、日本では新たなデバイスがなかなか生まれないため、難しい状況にあった。

また、循環器病の臨床医として、日本の心不

全患者の退院後リハビリ継続率が低く（7%）、退院 1 年以内の再入院率が高い（35%）ことに問題意識があり、こうした点を解決したいという思いも起業のきっかけとなっている。

そうした思いを抱えている中、「ジャパン・バイオデザイン」へ第一期フェローとして参加する機会を得て、心不全患者が自宅で心臓リハビリを実施できる遠隔医療を主な事業ドメインとし、同プログラム第一号となる株式会社リモハブを 2017 年 3 月に創業するに至った。

◆ 事業にける思い

谷口氏は、医療機器開発のエコシステム（※）を有しているアメリカと違い、日本にはそうしたシステムがないため、革新的な医療機器がなかなか生まれないと感じていた。

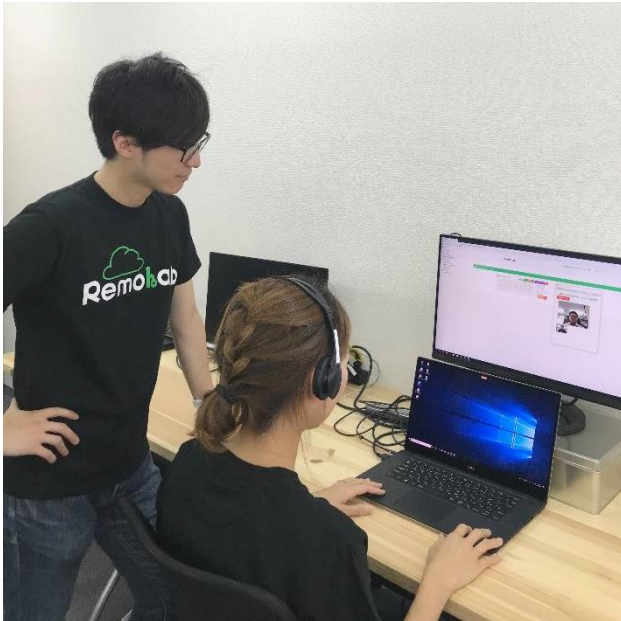
このため、谷口氏が自ら学んで、実際の医療現場で医療機器の開発に携わり、一つのロールモデルをつくり、最終的にこのようなエコシステムを日本に創りたいという思いから、現在に繋がっている。

※エコシステム

スタートアップ企業が生まれ、それをベンチャーキャピタルやインキュベーター、アクセラレーターなどがサポートしつつ、最終的には大企業がそのベンチャー企業を M&A で吸収し、大企業が自社のチャネルを持って全世界に広めていく。さらに、M&A を受け入れた起業家たちが、再度開発に戻り、新たな医療機器をつくるような循環システムのこと。

特徴・強み

◆ ビジネスモデルとその特徴 【遠隔心臓リハビリ装置】



事業内容としては、遠隔心臓リハビリシステムの開発及び販売（レンタル）となる。リモハブ社の提供する遠隔心臓リハビリシステムは医療アプリケーション、スマートエクササイズバイク、そしてウェアラブル心電計などがコンポーネントとなっている。

医療機器として、医療機関が処方し患者に利用いただくビジネスモデルを目指して日本初の遠隔リハビリテーション領域における治験を進めており、2023 年頃の上市を予定している。

患者の心拍数や心電波形が分かるセンサーを付けてエクササイズバイクのペダルを漕ぐと、情報がリアルタイムに病院の看護師などに伝わる仕組みによって、自宅にいても安心安全な心臓リハビリを実現できる。

◆ 強み・アピールポイント

リモハブ社の強みは、医師や看護師などの医療従事者が開発に携わっており、大学発ベンチャーという背景を活かし堅固な医療エビデンスを構築していけることである。

将来展望

◆ 今後の事業展開

5 年後、10 年後の目標とする到達点やロールモデル、拡充したい販路（ターゲット層）等

現状、リモハブ社の遠隔リハビリ装置は薬機法の承認を受けるべく、治験を実施している最中である。

事業のための資金は、大阪大学ベンチャーキャピタル株式会社が運営する投資事業有限責任組合等を引受先とする第三者割当増資により、資本金を 2 億 578 万円としている。

回復期における心不全患者をターゲット層とし、治験、薬機法の承認を経て 2023 年頃の事業化を目標とする。

5 年後には全国の医療機関、循環器科の医師に認知され、在宅医療を行っている会社などとの連携や保険適用を目指し、売上高 10 億円を目標とする。

10 年後にはパートナー会社との連携強化により、数千億円規模の在宅医療市場において相応の地位を確立したい。

PR 事項

◆ 提供サービスにおける PR 事項

心臓リハビリテーションが普及することにより、心不全患者の再入院率が低下し、患者本人の QOL 向上、国全体の医療費、社会保険料削減に寄与できる。

会 社 概 要

設 立：2017 年 3 月

資 本 金：205,788 千円

従業員数：約 20 人

U R L：<https://www.remohab.com/>

主力サービス開始時期：2023 年頃を予定